

石川県金沢市兼六元町1番1号
一般財団法人 北陸私鉄バス労働会館
理事長 窪田 正尚

事業報告書

当一般財団法人「北陸私鉄バス労働会館」は北陸地方の私鉄バス産業に働く労働者をはじめ、石川県下の産業ならびに労働に関する知識の啓発・福祉・教養の向上に努めてきました。

今回の事業報告は2025年7月1日から2026年6月30日の一年間についてです。収入では、本年度27,875,243円（昨年度25,394,139円）となり、前年比と比べ2,481,104円増益となっています。

これは、会館の安定的な運用・稼働に伴い、賃料収入27,709,468円（昨年度：25,217,497円／前年比2,491,971円増）が堅調に増加し、収益の根幹を支えました。また、預金等に伴う利息も若干ではあるものの増加した要因と思われます。

支出では、本年度27,148,174円（昨年度35,403,461円）となり、前年度と比べ8,255,287円となり、大幅な支出抑制を達成することが出来ました。

支出が減少する要因として、前年度に実施された施設・設備の改修や修繕工事が一巡したため、当年度は日常的な維持管理にとどまり、営繕費用が大幅に縮小しました。

公益目的収支差額ですが、今年度は2,262,414円となっており、公益目的収支差額の合計額は、15,985,523円。残額は42,630,657円となります。

完了予定事業年度は、令和40年(2058年)3月31日は変更ありません。

労働者の若年層を中心に、広く門徒を開き、ホームページや私鉄北陸地連の窓口を設け、青年女性部の活動を根底とし一般の方々にも労働者の権利や教育、制度や組合活動を学ぶ機会を作り、労働者としての知識を学んでもらう事を目的としてきました。

また昨年と同額を石川県勤労者体育協会に10万円寄付し、スポーツ交流を通して労働者の福利厚生に寄与しました。

今後も当会館としての使命を果たしながら健全な事業として継続するための努力

を重ねていきたいと考えています。

1. 会館運営にあたっては、会館賃貸料収入が順調に推移し、収益の柱として機能いたしました。

① 事業内容と支出計画には大きな変更はありません。

② 北陸私鉄バス労働会館（北陸会館）の大規模イノベーション工事に伴う、営繕費は賃料で支払い、（償還期間 2024 年 4 月 1 日から 2047 年 3 月 31 日）長期未払金残高については現在、236,352,516 円です。

【償還年数・約 20 年】（年間支払金額／11,967,216 円）

2. 青年女性部員に活動教育として、下記の通り、労働運動と青年女性活動や今後の労働活動の基礎を教育してきました。

	開催日	講座名	講師名	参加人数
1 回	2025 年 7 月 11 日（金）	労働組合と政治との関わりについて	北地連書記長 西能 智之	25 名
2 回	2025 年 9 月 5 日（金）	若年層の離職の原因を考えよう	北陸会館評議員（北陸鉄道労働組合） 坂下浩之	20 名
3 回	2025 年 11 月 7 日（金）	秋闘における青年女性の役割とは	北陸会館評議員（連合石川副事務局長） 南 芳雄	20 名
4 回	2025 年 12 月 5 日（金）	震災から 2 年～奥能登地方の公共交通を考える～	北陸会館理事（北陸鉄道労働組合・書記長） 石上義則	22 名
5 回	2026 年 1 月 16 日（金）	簡単な法律について～私たちの生活に関係した法律を学ぼう	連合石川事務局長 小水 康史	23 名
6 回	2026 年 2 月 26 日（木）	1. 石川県の海外誘客の推進について 2. 国内外の事例を踏まえた地方鉄道のあり方 3. 26 春闘情勢と組織強化	石川県国際観光課 課長補佐 巽 陽一 関西大学経済学部 教授 宇都宮浄人 北陸会館理事 的場達也	46 名
7 回	2026 年 4 月 3 日（金）	誰でもわかる簡単な連合運動～連合って何をしているのか？	連合石川かなざわ地協事務局長 坂本修一	21 名